

会 議 録

- 1 会議名 第2回白山会館運営委員会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 平成28年度白山会館事業および市民啓発事業の中間報告について（公開）
 - (2) 白山会館事業についての意見交換（公開）
 - (3) その他（公開）
- 3 開催日時 平成28年9月30日(金) 午後1時30分から3時00分
- 4 開催場所 白山会館 第1・2研修室
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）
 - ・委員：渡辺副委員長、小林委員、吉村委員、伊藤委員、山岸委員、井部委員、井上委員、橋本委員、中村委員
(欠席：寺田委員長・磯貝委員・浦沢委員・白川委員)
 - ・事務局：社会教育課 大山課長、小林副課長、山本係長、市川主任、保坂社会教育指導員、横山 明夫社会教育指導員
- 8 発言内容
 - 【開会】
 - (1) 平成28年度白山会館事業および市民啓発事業の中間報告について
事務局から、資料に基づき説明。
(渡辺副委員長)
ただいまの事務局の説明について、質問、意見等はないか。
(中村委員)
人権を考える講話会について、平成18年から続いている事業だが、以前と比べ内容や参加人数など、違ってきたところはあるか。
(事務局)
小学校単位での開催では、講話会単独で行うのではなく、同和教育学習の授業参観を取り入れるところが増えてきた。以前は説明会だけであったが、参加しやすいやり方を考えて実施している。また、地域によって（児童数や人口、世帯数など）状況が違うので、青少年育成会議など地域の人たちにも参加の声掛けなどを協力いただいている。

また、終了後のアンケートからは、以前と比べ人権問題に関心を持つ人が増えてきていることがうかがえる。

(渡辺副委員長)

ほかに、質問や意見等ないか。

(委員)

なし。

(2) 白山会館事業についての意見交換

事務局から、資料に基づき説明。

(渡辺副委員長)

ただいまの事務局の説明について、質問、意見等はないか。

(委員)

なし。

(3) その他

(事務局)

白山会館運営委員の白川委員が亡くなられ、白山会館運営委員に1人欠員がでた。上越市白山会館運営委員規則で委員数が「13人以内」とされていること、また、白川委員の選出母体である部落解放同盟新潟県連合会上越支部と協議させていただいた結果、来年7月の任期満了まで委員の補充は行わず、欠番とする。

来年7月18日の現委員の任期満了、役員改選に際し、選出委員については部落解放同盟新潟県連合会上越支部と改めて相談させていただく。

(渡辺副委員長)

ただいまの事務局の説明について、質問、意見等はないか。

(委員)

なし。

(事務局)

小中学生学習会について、資料に基づき説明。

(渡辺副委員長)

ただいまの事務局の説明について、質問、意見等はないか。

(中村委員)

今説明された、「進路保障にむすびつく基礎学力をつける学力保障と、友達や仲間同士が集まれ、励ましあえる仲間づくりの場所」という小中学生学習会の考えは、全ての子どもに関わることである。しかしながら、特にこの地区で小中学生学習会が実施されていることの意味を考えなくてはならない。

小中学生学習会だけのことではないが、国民の自由と平等が侵害されている問題がそこにあるということ、その地区が悪いのではなく、地区の外に責任があり、国の問題であるということの基本として押さえておく必要がある。その解決のために、同和対策審議会答申があり、その内容から、具体的な事業の実施につながっている。

(渡辺副委員長)

この白山会館についても、同和対策事業から始まっている。ここから始まった学力保障の場の在り方や精神は生かしていかなければならない。運動体（解放同盟）としては地区外の子どもも、この取組に参加してほしい気持ちがある。差別はする側の問題であるから、地区の外の人に参加することはよいことだと思う。以前、リージョンプラザ上越で「いのち・愛・人権展」を開催した時、市内の写真が掲示されていたが、同和地区内外問わず、子ども同士写真を見ながら話しあっていた。そういった交わりがとても重要である。

(小林委員)

今年の全国人権・同和教育研究集会で、城北中学校の教員が小中学生の学習会について発表した。子どもの学習会で、勉強だけでなく、人権教育、解放教育を行わないのかということが質問された。地域差があることだが、白山会館の中学生学習会で講師をしている教員は、質問を受ければきちんと地区の実態や、問題解決の取組を説明する気持ちでいる。

現在の学習会はとてもいい雰囲気であり、この春卒業し、高校一年生になった生徒が「地域の自慢」として、白山会館や白山神社のことを紹介した。ここでの取組が、地域への自信につながっている。

(橋本委員)

否定的な意味での、小中学生学習会への質問はないと思う。

(吉村委員)

とても深い問題だと思うが、やっていることの矛盾を感じる。解放しようと思ってやっていること、例えば子どもを集めて学習会を開くことが、あえて問題になってしまっているのではないかと。ほかに差別に対処する方法があるのではないかと。

(中村委員)

同和対策審議会答申ではいろいろな対策があって、上越市でも行っている多くの同和対策事業の実施につながっていくのだけれども、同和地区の特別な事情をなくすというのは国の責務であることを考えて、地区でやることと、周りの差別する人たちに対してやらなければならないことがある。

(井上委員)

同和問題を学習している人は、部落について既に知っている。宗教関係でも、同和問題に関する組織が全宗派にある。活動の大小はあるけれども、まず疑問を持つことを大事に、取り組みを通して、理解を深めていく姿勢が大切である。

(中村委員)

白山会館事業についての委員のとらえ方がしっかりしていれば、白山会館での小中学生学習会の開催についての質問の答え方もそれぞれ考えられると思う。

(渡辺副委員長)

委員の意見も踏まえて、再度事務局で考えを整理し、まとめてほしい。

(事務局)

了解した。

【その他】

- ・第3回白山会館運営委員会の開催について

11月18日(金)、東本町小学校の同和教育研修会と合わせて東本町小学校で開催。

【閉会】

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係

TEL : 025-545-9245 (内線 1261)

E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。